

平成24年度 岐阜県高等学校バスケットボール新人大会
 兼 東海高等学校バスケットボール新人大会県予選会
 大会2日目：平成25年2月2日(土)
 会場：大垣市総合体育館・大垣商業高校

男子の部

＜審判＞

Aブロック 決勝	美濃加茂	101	$\begin{bmatrix} 24 - 7 \\ 26 - 12 \\ 27 - 18 \\ 24 - 10 \end{bmatrix}$	47	斐太	井口貢志・津田健介
Bブロック 決勝	中津川工	71	$\begin{bmatrix} 18 - 8 \\ 14 - 15 \\ 13 - 18 \\ 26 - 19 \end{bmatrix}$	60	岐阜総合	棚橋英一・大豆村斉
Cブロック 決勝	富田	85	$\begin{bmatrix} 21 - 15 \\ 18 - 15 \\ 28 - 10 \\ 18 - 13 \end{bmatrix}$	53	大垣養老	瀬川雄一郎・清水潤
Dブロック 決勝	岐阜農林	115	$\begin{bmatrix} 39 - 13 \\ 22 - 14 \\ 22 - 14 \\ 32 - 8 \end{bmatrix}$	49	中京	増田博徳・伊藤潤
5位決定 予備戦	斐太	62	$\begin{bmatrix} 11 - 12 \\ 9 - 17 \\ 17 - 10 \\ 14 - 12 \\ 11 - 6 \end{bmatrix}$	57	岐阜総合	岩永英夫・野々村日希
5位決定 予備戦	大垣養老	86	$\begin{bmatrix} 22 - 26 \\ 18 - 21 \\ 22 - 15 \\ 24 - 13 \end{bmatrix}$	75	中京	下村勝彦・小畑藍

決勝 リーグ	美濃加茂	88	$\begin{bmatrix} 34 & - & 5 \\ 22 & - & 14 \\ 24 & - & 14 \\ 8 & - & 18 \end{bmatrix}$	51	中津川工	相宮俊郎・篠田義貴

美濃加茂オールコートマンツーマン、中津川工ハーフコートマンツーマンでスタートする。美濃加茂は激しいプレッシャーディフェンスから相手のミスを誘い、⑦堂藤の速攻や3点シュート、⑤坂之下のミドルシュート、⑥武藤のリバウンドシュートで得点していく。中津川工は、⑤横井がミドルシュートを決めるが、相手のディフェンスを攻めきれず得点が伸びない。第1ピリオド、美濃加茂が34-5と大きくリードする。第2ピリオドに入っても、美濃加茂の勢いは止まらず、⑥武藤の速攻やリバウンドシュート、⑦堂藤の1対1で得点を重ねる。交代で入った⑬沼田、⑭山田も速攻やドライブで着実に得点を伸ばしていく。中津川工は、⑨木村のミドルシュートや速攻、⑤横井のドライブ、⑱江川の3点シュートでリズムをつかみかけるが、追い上げまでは至らない。前半で美濃加茂は56-19と大きく主導権を握る。

第3ピリオドに入っても美濃加茂の攻撃は止まらず、交代したメンバーもよく走ってシュートを決める。⑭山田の速攻、⑫瀬藤の3点シュート、⑬沼田のリバウンドシュートなどでリズムよく得点し多彩な攻撃をみせる。中津川工も早い展開から、⑱安江の速攻、⑰桃井のドライブ、⑨木村の速攻で得点するが差を縮めることができない。

第4ピリオド、美濃加茂はコートに1年生メンバーを投入すると、攻撃力が落ち、得点が伸びなくなる。しかし、そこまでのリードを守り切り、最後は88-51で美濃加茂が勝利をあげ、決勝リーグ1勝目をあげた。中津川工も最後まであきらめず、⑰桃井、⑨木村のドライブ、⑤横井のゴール下シュートなどで得点をあげ追い上げるものの、チーム主軸の④吉村を前試合のケガで欠き、苦しい試合となった。(吉福司)

決勝 リーグ	岐阜農林	71	$\begin{bmatrix} 25 & - & 15 \\ 15 & - & 19 \\ 22 & - & 15 \\ 9 & - & 17 \end{bmatrix}$	66	富田	大江裕之・古田 怜

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。立ち上がり両チームとも硬さが見られ、お互いに得点できなかったが、富田⑩大滝のシュート後、⑬山田、④真鍋の3点シュートなどが決まりだす。対する岐阜農林も⑯松岡が巧みにパスを廻し、⑥寺内のジャンプシュートや④吉田のカットイン、⑤田中のゴール下のパワープレーなどで一気に8点を連取。第1ピリオドは25-15で岐阜農林がリードして終了。

第2ピリオド、富田は⑥大野のジャンプシュート、⑩大滝のゴール下シュートなどで3点差まで追い詰めるが、岐阜農林⑤田中が1対1から巧みな攻めを見せ、連続9得点を上げる活躍で対抗し、40-34で岐阜農林リードのまま前半を終了。

第3ピリオド、お互いにディフェンスを頑張り、相手に得点を許さない。インサイドで岐阜農林がわずかにリードし、セカンドチャンスを生かす。62-49と岐阜農林が13点とリードを広げ終了。

第4ピリオド残り5分、富田⑤桑原が足首を負傷し途中退場して一気に離れるかと思われたが、⑨牧田のジャンプシュート、⑬山田の3点シュート、⑩大滝のポストプレーなどで最後まで粘りをみせ、71-66と5点差まで詰めるが、結局岐阜農林が逃げ切り、決勝リーグ初戦を制した。(高木大志)

女子の部

<審判>

Aブロック 決勝	岐阜女子	105	$\begin{bmatrix} 34 - 4 \\ 28 - 8 \\ 20 - 2 \\ 23 - 3 \end{bmatrix}$	17	長良	菅野孝弘・梶本健一
Bブロック 決勝	高山西	55	$\begin{bmatrix} 10 - 17 \\ 12 - 4 \\ 20 - 11 \\ 13 - 21 \end{bmatrix}$	53	岐阜総合	小牧秀則・藤浪元明
Cブロック 決勝	土岐商	85	$\begin{bmatrix} 17 - 10 \\ 37 - 12 \\ 21 - 11 \\ 10 - 4 \end{bmatrix}$	37	大垣南	小野卓也・伴幸二
Dブロック 決勝	岐阜農林	70	$\begin{bmatrix} 17 - 17 \\ 19 - 12 \\ 10 - 13 \\ 24 - 16 \end{bmatrix}$	58	県岐阜商	名越龍男・三浦寛之
5位決定 予備戦	岐阜総合	75	$\begin{bmatrix} 20 - 12 \\ 18 - 6 \\ 18 - 19 \\ 19 - 6 \end{bmatrix}$	43	長良	宮崎泰彦・河野裕介
5位決定 予備戦	県岐阜商	86	$\begin{bmatrix} 30 - 10 \\ 12 - 7 \\ 24 - 9 \\ 20 - 12 \end{bmatrix}$	38	大垣南	浅野和道・小森裕子

決勝 リーグ	岐阜女子	97	35	高山西	小池匡弥・小森公貴	19 - 5
						30 - 6
						30 - 12
						18 - 12

岐阜女子オールコートマンツーマン、高山西2-3ゾーンで始まる。第1ピリオドは共にディフェンスの頑張りをみせ、ロースコアの展開となる。岐阜女子は⑭大西の3点シュートを皮切りに、⑧谷、④鐘ヶ江の個人技を中心に得点をあげていく。高山西は④山下が積極的にインターセプトするなどしたが、開始5分間はシュートが決まらず、無得点に苦しむ。第1ピリオドは岐阜女子が19-5とリードする。

第2ピリオド、岐阜女子は⑧谷が12得点、⑦ヤシンが高さを生かしてインサイドで10得点と力を発揮し、リードを広げていく。高山西はタイムアウトを取りディフェンスを変えて対抗するが、攻め手を欠き得点が伸びない。前半は岐阜女子が49-11と大きくリードを奪う。

第3ピリオドに入ると岐阜女子は⑤坂田のアシストが冴え、⑦ヤシン、④鐘ヶ江が次々にシュートを決めていく。高山西は⑪野村円がジャンプシュート、⑩佐藤が3点シュートを決めるが、追いつけることができない。第3ピリオドで岐阜女子が79-23と、優位を保つ。

第4ピリオド、岐阜女子は⑧谷の力強いプレーで得点を伸ばし、最後は97-35で決勝リーグの1勝目をあげた。今年の岐阜女子も、スピードのあるオフェンスと厳しいディフェンスを武器に、優勝候補の筆頭となっている。高山西も④山下を中心に頑張りを見せる。今後の成長に期待したい。(岩井憲司)

決勝 リーグ	土岐商	81	49	岐阜農林	小森邦弘・片野真	16 - 19
						16 - 14
						26 - 7
						23 - 9

第1ピリオド、土岐商はオールコートマンツーマン、岐阜農林はハーフコートマンツーマンでスタートする。岐阜農林は⑦宮崎、④高山、⑪林マのドライブや、パスカットからの速攻でリードを奪う。対する土岐商も④原、⑦足立のドライブで対抗するが、岐阜農林の厳しいディフェンスを突破できない。流れの悪い土岐商はタイムアウトを取り、パス&ランを中心とするオフェンスに組み立て直す。土岐商は⑥水野知、④原、⑦足立の合わせや、⑩伊藤の3点シュートで差を縮め、19-16と岐阜農林の3点リードで第1ピリオドを終える。

第2ピリオド、土岐商は④原のスティールからの速攻やドライブで開始1分で逆転する。⑩伊藤の3Pシュートも決まり、流れが土岐商に傾くが、ここで岐阜農林はリバウンドを頑張り⑪林マのゴール下シュートで追いつがる。一進一退の攻防の末、岐阜農林の④高山がリバウンドシュートを決め、33-32と岐阜農林の1点リードで前半を折り返す。

第3ピリオド、開始早々土岐商は⑥水野知、④原のドライブが決まり、一気に流れをつかむと⑦足立のゴール下シュート、⑧小川の3点シュート、⑥水野知の1対1などで次々と得点を重ねていく。対する岐阜農林は2回のタイムアウトを取り、流れを変えようとするがボール運びでもミスが目立ち、得点まで至らない。第3ピリオドは58-40と土岐商が18点の大量リードで終了する。

第4ピリオドに入っても流れは変わらず、土岐商は④原のドライブ、⑧小川の3点シュート、⑦足立のゴール下シュートなどでバランス良く得点し、土岐商が81-49で決勝リーグ1勝目を挙げた。岐阜農林も粘り強いディフェンスで最後まで頑張ったが、後半は疲れからか足が止まってしまい、得点に結びつけられなかった。(山川雄司)